



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市中区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

全国板金業国民健康保険組合 第六十三回 通常組合会開催

十三年度・保険料値上げ決まる

全板国保組合は三月十四日東京郵便貯金会館に於いて第六十三回通常組合会を開催した。この日、全国各県板支部より組合会議員四十五名（代理委任共）と全板国保理事幹事二十名が参集。愛知県板からは組合会議員であった前事務局長吉田氏が病氣退職のため細野厚生副委員長が出席した。

毎年通常総会が収支決算が決まる年度末前のこの時期に開かれる理由は、新年度の事業計画とそれに関わる予算組の承認を得るためである。

組合会は午前十一時、加賀副理事長の開会の辞で始まり勝又理事長は「景気低迷が続く中、板金業界にも倒産業者が増えつつある厳しい現状を踏まえ「病は気から」と言われるように、業績不振のストレスから病になることも有り

景気と病氣は表裏一体とも考えられる。この様な時、組織を通して互いに助け合って商売を守って行くためには、各自の健康管理と共に、保険事業の充実を計って行きたい」と挨拶。

これより議長選出の後、議事に入り事務局より十二年度の事業内容と決算見込みの詳細説明がされた。十二年度、医療費の動向は国保組合員の減少にも関わらず月平均一人当りの医療費一三、二二三円（前年度比五・二二％増）と大幅な増加となった。この原因は入院の増加と共に、超高額医療費患者の続出にあるが、保険事業は相互扶助が原則であるからやむをえない現象と言える。これにより、次年度繰越金は二億円余りとなり、総体的な見込み予算組み上、保険料値上げが必至と成って

来た。続いて平成十三年度の事業計画と予算組の内容等が詳細に説明され、前述の理由から保険料改定と二十五才未満の従業員を対象にした「特二種組合員」を設定し月額一万円とすること、組合規約一部改正の議決事項を上程、質疑を受けたのち全員一致で承認された。

また質疑については時節がら国保組合員に思いやりのある保険事業の要望があった。いづれにしても、組合員、従業員と家族の健全な生活を守る全板国保事業の安定化のため、国保組合員の加入率拡大に向けて、いっそう力を入れて行かなければならない。(S)



組合会の風景

◆◆◆ 平成12年度事業の中間報告 ◆◆◆

平成12年 4 月 1 日から
平成13年 1 月 31 日まで

* 概 況 *

平成12年度は、医療保険制度抜本改革の前提として位置付けられた「介護保険制度」の実施と併行してスタートした。医療保険者としては、第2号被保険者の介護保険料を賦課・徴収する義務を課せられ、その対応に迫られた。一方、国民健康保険事業に課する当局よりの行政指導は、組合員資格の適正化を中心とする「適用の適正化」が最重点項目として示され、現在の経済不況と相俟って本年度も被保険者数の漸減傾向が続いた。しかし、昨年末に至って一時的に下げ止まりが見られたが、今後の見通しは楽観を許さない。12月末現在組合員16,183人、家族23,409人、合計39,592人（前年度末比△977人）となっている。

医療費の動向は、一般被保険者分の療養給付費11月末現在の実績で、一人当たり月平均13,223円（費用額）、対前年比5.12％増となっており、年初の予定を大きく上回っている。増えた最も大きな原因は「入院」の増加にある。被保険者数が減少しているにもかかわらず、入院費用額が昨年

より5千386万円も増えている。入院1件当たりの費用額が明らかに増加しており、今後の動向に注目したい。

老人医療費は前年度同期と比べ、総額・一人当たり額とも減少している。その理由は必ずしも明確ではないが、原因の一つとして4月から施行された介護保険との関連が推察される。昨年暮には、健保法等関連法案が可決成立し、本年1月1日から施行されたところであるが、国保組合にとっても大きく影響する内容となっている。

一方、事務局の内部努力として、診療報酬明細書（レセプト）の点検調査事務に積極的に取り組んだ結果、財政効果を上昇させ指導官庁より評価を得たところである。また、第三者行為をはじめとする不当利得等の求償事務や、ますます複雑化する制度に対応するための事務の改善、支部事務の電算化の促進等関連作業にも精力的に取り組んでいる。

以上、平成12年度は制度の抜本改革をにらんでの課題の多い年度であったが、関係者のご理解を得て無事終了する予定である。

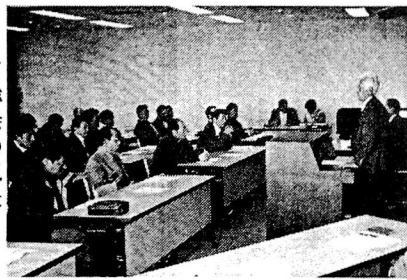
尾張板金連合会

平成12年度総会開催

三月十一日(旧)正午名古屋空港近くの豊山社教センターに於いて、各支部の代表者三十二名が集まり、尾張板金連合会総会が開催された。

開会の辞の後、会長挨拶、ここでは保証制度について述べられ尾張地区では一七名が修了されているのが活用したのは十三件と活用者の少なさに嘆かれた。続いて十二年度事業報告、十三年度事業報告案、会計報告及び監査報告、会則の承認について、役員任期満了に付き役員の改選と議事がおこなわれた。

また来賓として村上理事長にお越しいただき、全板大会参加の呼びかけ、太陽光発電工事の活用、また吉田専務の病气による退職の件について述べられた。吉田専務には毎



総会の風景

〇〇 刈谷支部総会

刈谷支部総会は3月4日3時より、西浦温泉において組合員21名中7名欠席の中、来賓の村上理事長、毛利西三板金連合会会長をお迎えして平成12年度の総会を行った。司会の山本末二氏の進行で、支部長挨拶、理事長挨拶、毛利西三板金連合会会長挨拶、支部長挨拶で、外山敏氏が、組合員全員の協力で4年間、無事つとめ終える事が出来たのも皆様方の力であり、次の支部長に、全員で協力をしてほしいと言われた。

理事長挨拶では、村上理事長は6月13日の神戸全板大会と組合活動をささえて下さるようにお願ひされた。毛利西三板金連合会会長挨拶では太陽光発電、14年新年会は西三の担当で協力をしてほしいと言われた。

理事長挨拶では、村上理事長は6月13日の神戸全板大会と組合活動をささえて下さるようにお願ひされた。毛利西三板金連合会会長挨拶では太陽光発電、14年新年会は西三の担当で協力をしてほしいと言われた。

尾張板金連合会新役員紹介
。会長 細野 清
。副会長 平野 克彦
。佐藤 忠雄
。計 富本 育三
。監 未 定
。相 滝 伸二
。談 羽 弘和
。問 弘和
。顧 弘和
。各支部長
。一宮 服部 専一
。稲沢 小林 三春
。犬山 小島 一広
。岩倉 宮崎 勝三
。春日井 富本 育三
。江南 石川 鐘吾
。小牧 杉本 和彦
。瀬戸 山口 次男
。津島 平野 克彦
。西春 井藤 和美
敬称略
津島 猪飼

第20回山善会総会旅行

3月22・23日山善会員と賛助会員の野水鉄興(株)、東洋化学(株)、大洋製鋼(株)、タニタハウジングウェアに参加いただき、総勢35名バス一台に乗り込み、早朝名駅から能登方面和倉温泉に出発した。

一宮ICからまだまだ残雪の残る庄川ICをおり、156号を北

いと言われた。

議長選出が行われ、議長に酒井佐氏が皆さんの協力に議事が進行出来ますようにお願ひをされ議事に入った。

平成12年度事業報告、会計報告、監査報告、技能士会報告、青年部報告と続き、役員改選に入り、新支部長に望月治氏が選出され、他の役員は、新支部長に一任された。挨拶の中で組合員全員の協力でがんばって行きたいと抱負を述べられた。

問屋さんの挨拶の中で、世の中のきびしい中でがんばりますので、今後ともよろしくお願ひしますと言われた。総会後6時からの懇親会では、話に花が咲き、カラオケも盛り上がり盛大に終わる事が出来た。刈谷 岩室

こは、きときと(地元で新鮮という意味)の魚を見る、買う、食うことができる魚の街水見ならではの施設である。

さらに富山湾沿いに北上し、この頃には日も暮れだし賑やかだった車中も静かになり、ほぼ予定通り宿泊予定の和倉温泉「美濃荘」に到着。バスを降りそのまま特設会場に入り総会が行われた。開会のことばの後、斎藤会長挨拶。ここでは景気が悪いからといって甘えて景気のせいにはせず、その中で自分はどうすべきかという自分で大事であること、今を乗り越えようという強い意

見や、今回の海外研修の件等を述べられた。続いて議題に入り会計報告、監査報告、役員紹介、賛助会挨拶PR、そして山善山田社長挨拶。いつもは長くなるのだが旅の疲れを気づかってか、手短かに終わられ最後に閉会のことばで第20回山善会総会を終えた。

その後各自部屋に入り温泉に入ったりして旅の疲れを癒した。この源泉は海から取り入れているため塩からく、体も温まり飲みば消化器系に良いそうだ。一時間後の宴会では親睦をはかるためくじで席をきめ、若いコンビニオンも加わり隣合わせた者と話に花を咲かせていた。

翌朝、ホテルを出て能登半島を横断して反対側の海浜道路を通り、途中の千里浜なぎ

さドライブウェイでは約8kmの砂浜を車が走行できる区間があり、波きくを走るのはなかなか爽快であった。

金沢市街に入ると金沢東茶屋街という昔の風情を残した遊歩道を散策し、近江町市場ここでは新鮮な魚や野菜等が安く手に入るの、地元の人や観光客で賑わっていた。昼食後、妙立寺を見学、ここは予約制で時間厳守、軽装や酒

気をおびた方もだめだそう。本堂の中に入ると三グループに分かれ、各々がガイドが一人付き案内を案内された。忍若寺という別名があるだけあって、隠れ階段等いろいろなか

らくりの説明を聞き、驚きの声があちらこちらで上がっていた。金沢では、また違った穴場を訪れることができた。こうして予定地をすべて見学し、北陸道を通り名神高速に合流し無事予定通り名駅に到着し、各々が帰路についた。

津島 猪飼



▲「金沢東茶屋街」を散策する会員

奥三河の里② 田峯のおしどり

今回は、新年号で紙面の都合で掲載できなかった冬季限定の穴場を紹介したい。

先回掲載したように、豊川ICから新城市を経て大海から国道二五七号線に入り約四十km位で大輪橋の三叉路に来る。足助町からは一時間くらい。道路標識に従って「田峯・稲武」方向に寒狭川沿いを暫く走ると右側に設楽観光ヤナ

もある。毎年落アユの頃には「鮎ずくし」秋の味覚を求めて訪れる人々で連日大賑わいの店である。またこの大きな「五平餅」は格別にうまい。この近くに住む従兄弟が料理長をしていた緑

もあっていつも生の五平餅を土産にしている。八雲苑を過ぎて間もなくのトンネルを抜けて丁字の田峯交差点を右折した所の橋の手前を右斜めに細い道を下った行き止まりの元製材所に目的の「おしどりの里」があり、野鳥の愛好家にはよく知られている。

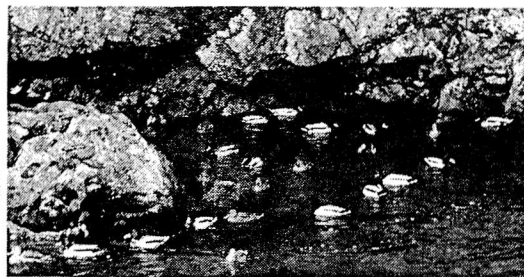
地元の「設楽地方オシドリ愛護会」が二十余年にわたって保護と繁殖を目指し愛護活動が続いている県指定の鳥獣保護区おしどりの楽園である。製材所の敷地内にある寒狭川

夢ヶ淵の観察小屋にはブルーシートが張り巡らされ、所々観察用の穴が切り抜かれており、警戒心の強いオシドリ達が安心して自然環境の中に居られるよう配慮されている。おしどりは東アジア特産のカモの仲間。毎年十月頃、幼鳥を連れて田峯の寒狭川に帰ってくる。警戒心の強いおしどりの保護活動は困難と失敗の繰り返し。愛護会員の忍耐と努力の甲斐あって今では四〇〇羽以上となり家族同様に楽しく暮らしているとか。秋の終わりの頃、寒狭川におしどりが帰って来ると「今年も来た、よかった、よかった」と胸を撫で下ろすという。

そして翌年三月まで夢ヶ淵や梅ヶ枝淵の集団越冬地で豊かな餌を食べ、新しい生命を宿して岐阜や長野の高い山奥に帰って行く。代表の伊藤さんは、春三月の別れは淋しいが半年間の保護活動から解放された肩の荷が下りた様な満足感で飛び去る鳥影を見送るのだそう。そして「貴方も奥三河のシンボル、美しい『おしどり』の姿を見に来て下さい。きっと私たちのふる里の貴さ、自然の美しさを深く感じる事が出来るでしょう」と。

今年はおしどり達も山深い森に帰ってしまったが、晩秋の頃になったら、設楽の自然水を含みに行きながら是非見に行かれることを勧めたい。日中は岩の上で昼寝をしていることが多いから、午前中はなるべく早い時間、午後なら三時過ぎが岸辺に近い所に寄って来るからよく見られる。タイミングよく行くくと川面を雄雌揃って優雅に泳ぐ姿が観察出来る感動である。特に繁殖期のオスの羽色は際立って美しい。カモ達も同居した自然の中でおしどりの貴重な生態観察ができる日本有数、地球の遺産と地元の人々は誇りにしている。見学の時はくれぐれも生態観察のマナーを心掛けたい。駐車料三〇〇円 (S) 北設楽郡設楽町大字田峯 字竹桑田三ノ六

「設楽地方おしどり愛護会」代表 伊藤 仙一氏 ☎五三六・六四一五〇〇八



夢ヶ淵の鷺鷥

豊田板金工業組合 平成13年度第45回総会



▲あいさつする赤池高義新組合長

平成13年3月17日(土)、平成13年度豊田板金工業組合の定時総会が豊田市小坂本町の

「豊田産業文化センター」4階41会議室に於いて開催されました。組合員総数52名中総会出席32名、委任状出席7名でした。三浦誠治氏の司会により開会した総会は、西保組合長の挨拶の後、来賓挨拶を県板村上理事、毛利貞夫・西三板金連合会会長、加納敏男・横山興業(株)本所長、長谷川賢市・豊田高等職業訓練校校長にいただきました。

続いて杉本忍氏を議長に選出して議事に入り平成12年度事業報告、会計報告、会計監査報告が可決承認されました。次に役員改選が提案され

赤池高義氏が新組合長に選出され、赤池新組合長より平成13年度役員構成案が提案され可決承認されました。その後平成13年度事業計画案及び予算案が可決承認されました。続いて平成12年度をもって退会される3事業所と入会をされる1事業所の発表がありました。

議案審議終了後、各報告事項の発表となり青年部報告、技能委員会報告、豊田高等職業訓練校講師報告があり総会は閉会しました。続いて会場を1階のレストラン蝶々に移して懇親会がおこなわれ久しぶりに見る顔とお酒を酌み交わしながら楽しい時間を過ごしました。

豊田 松井

豊田板金工業組合青年部 第21回総会

豊田板金工業会青年部(杉浦一義部長)は、さる3月10日(土)市内の料亭「竹とんぼ」に於いて第21回の通常総会を開催しました。当日は部員23名中22名が出席、また来賓として親組合より西保組合長・会計福田氏、横山興業(株)より加藤孝治氏・松本氏の四氏

が出席されました。部長挨拶、来賓挨拶の後、杉本忍氏を議長に選出した議案審議はスムーズに行われま

した。本年は役員改選の年ではないので部長杉浦一義氏・副部長鈴木昭人氏・会計の今井義信氏はそのままで。また今回一名の新人部員が紹介されました。赤池板金さんの息子さんで赤池義徳君です。ところで平成十二年度をもって私を含め3名が年齢が来たので退部することとなりました。自分も歳をとったんだなあと感じました。

総会終了後、懇親会が開催

豊田 松井

▲あいさつする杉浦一義青年部長



倍販のためのサーキット トレーニング

池田商店が松下電工の協力により、営業拡大のための勉強会が四回に分けて企画され、第一回目のサーキット・トレーニングが3月7日(木)に電ビル南館において午後1時〜4時迄開催されました。

講師は(株)松下電工創研・東京研修センター、三木講師により、今回のテーマとして住宅形態の変化を先取りし、需要を分析し、お客様に何を提案(セールス)すべきかについての勉強となった。

最近の住宅傾向として、下

屋の無いバルコニー・ペランダ形式が主流になり三階建て住宅の増加により軒樋の減少、外装材の高級化・高品質「品確法」に合致した製品(仕事)を、いかに良いお客様(住宅保証機構加盟の工務店・お施主)にセールスするかをポイントとした勉強となった。時節がら満室の出席者全員が熱心に耳を傾け、盛況に第一回目の講習会が終了した。

次回は4月4日(木)

(熱田・南) 伊藤

熱田・南支部 幹事会

三月八日(木)午後六時より鳥鈴内田橋店において幹事会が行われました。

役員任期満了にともない改選の話し合いが行われ、長年(6期12年)にわたり支部の為に大変、尽くして頂いた「川村支部長」及び「伊藤会計幹事」が交替の意向のため、

三月八日(木)午後六時より鳥鈴内田橋店において幹事会が行われました。

新支部長に小野寺俊一氏(小野寺板金工業)に、会計幹事に内川一雄氏(内川板金工業)が選任された。

(熱田・南) 伊藤

3月各支部の動き

昭和支部	8日 例会	14名
	①役員改選	
	②全板大会	
	③高速道路別納カード説明	
中村支部	17日 役員会	5名
	20日 定例会	14名
中支部	17日 支部会	8名
中川港支部	27日 労働保険年度更新	
熱田南支部	8日 幹事会	10名
	15日 定例会	
尾張板金連合会	11日 総会	31名
瀬戸支部		
9日 支部会	12名	
	①高速道路別納カード説明	
	②新旧役員引継ぎ	
岩倉支部	12・13日 研修旅行	5名
津島支部	5日 定例会	9名
江南支部	15日 月例会	5名
	18・19日 総会旅行	16名
春日井支部	27日 新旧役員顔合わせ会	
8日 定例会(ヒルティ商		
品説明会)		
品説明会	14名	
役員会	4名	
西三板金連合会		

15日 正副会長会議 4名
勉強会(6月2日予定)の打合せ

岡崎支部

16日 新旧役員引継ぎ会 36名
24日 青年部歴代部長会 13名

碧南支部

28日 青年部総会
豊田支部 10日 第21回青年部総会 26名

刈谷支部

4・5日 総会(西浦富士見荘) 14名
14日 新旧役員会 13名

西尾支部

16日 役員会 19名
①共同購入開始
②全板大会参加者決定

知多支部

22日 青年部定例会 16名
3日 県板新年会反省会 18名
15日 青年部総会 28名



編集後記

ご存知のように四月から、不要になったテレビ、冷蔵庫など四品目を対象にした家電リサイクル法が開始される。これまでは買い替え時に小売店等が無料で引き取ってくれたが、これからは一台数千円のリサイクル料金と運搬料金を払うことになる。不要の冷蔵庫を出した時一台四六〇〇円+運搬料金(運搬距離により料金が違う)+消費税と一万円近い処理費を強いられるから今後身勝手な輩後による不法投棄の横行が心配される。また施行前の昨今駆け込み需要で家電業界は在庫底払いとか。皮肉な現象である。いずれにしろ製造業や建設業から産廃物は必ず出る。だから製造者責任、排出者責任は明確でなければならぬ。

板金業界にも改修工事から出る塩ビ雨樋や波板などの廃材処理に深刻な問題を抱えている。経営研究委員会は「塩ビ廃材処理」について塩ビ各社を交えて方策を見出そうと計画したが塩ビ業界では処理方法が確立していないの理由で協議して貰えなかった。一日も早い処理の確立を願う。

三月二十八日(木) 晴
三五九号 編集会議
委員 五名 出席
午後五時半終了(S)